

京都山城総合医療センター
第三次経営計画(改革プラン)進捗状況
(令和元年度9月報告)

令和元年9月

国民健康保険山城病院組合

目 次

1. 改革プラン主要項目
2. 改革プランの進捗状況
3. 医師の配置状況
4. 10月～3月の経営状況

1. 改革プラン主要項目

28年度～30年度 地域に必要な診療機能の整備・診療体制の充実を行う期間

主な計画目標

1. 地域医療支援病院の承認
2. 医師・看護師等のマンパワーの充実
3. 地域に必要な医療機能の整備
4. 外来医療の機能分担、在宅医療の側面支援
5. 中核病院として求められる主要な医療機器等の更新・整備

A. 公立病院として地域需要に応える 《 誇れる病院づくり 》

- ① 地域に必要な医療機能の整備
- ② 地域医療構想に対応した病棟整備
- ③ 外来診療の構造転換
- ④ 医療機器等の計画的な整備

B. 良質で安定した医療サービスを支える 《 活力あふれる人づくり 》

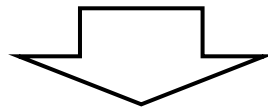
- ① 診療体制の充実
- ② 職員の定着と育成
- ③ 地域全体の医療職・介護職の教育・研修

C. 地域包括ケアシステム時代の 《 切れ目ないネットワークづくり 》

- ① 地域医療支援病院の承認
- ② 連携診療ネットワークの充実
- ③ 在宅医療・在宅介護の側面支援
- ④ 山形県医療圏の地域包括ケアシステム作りへの参加・協力
- ⑤ 東部町村の医療支援
- ⑥ 健康寿命を延ばすための活動

D. その他

- ① 医療安全の確保
- ② 患者サービスの向上
- ③ 運営の効率化



具体的な取組み内容

診療機能の整備

- 地域医療支援病院の承認
- 地域に必要な医療機能の整備
 - ・ 救急医療体制の充実
 - ・ がん、脳卒中、急性心筋梗塞など一般急性期医療
 - ・ 周産期医療・小児医療
 - ・ リハビリテーション
- 地域医療構想に対応した病棟整備
 - ・ HCUやNICUの整備
 - ・ 地域包括ケア病棟の維持・充実
- 外来診療の構造転換
 - ・ 紹介型外来・救急外来への重点化
- 医療機器等の計画的な整備
 - ・ 高度医療機器の機能維持・向上
 - ・ 放射線治療設備導入の検討

診療体制の充実

- 診療体制の充実
 - ◇ 医師
 - ・ 計画期間中に15名増員
 - ・ 重点強化分野を中心に招聘
 - ・ 後期研修プログラム整備、後期研修医を増員
 - ・ 総合診療専門医、地域包括医療・ケア認定医の育成
 - ◇ 看護師
 - ・ 一般病棟で最高水準の看護体制を維持
 - ・ ハイケアユニットやNICUへの配置
- 職員の定着と育成
 - ・ 安心して働ける就業環境の整備
 - ・ 研修体系の充実
- 地域全体の医療職・介護職の教育・研修
 - ・ 地域の医療職への教育・研修
 - ・ 地域包括ケアシステムを支える多職種への研修
 - ・ 地域ぐるみで研修を運営する仕組みの整備

2. 改革プランの進捗状況 (平成31年3月末現在)

○ 達成済、△ 現在進行中、※ 以降に実施を目指す事項、⇒ 前年度の状況を継続、 未達成

		概要	目標年度	28年度	29年度	30年度	備考	
A・公立病院として地域需要に応える〈誇れる病院づくり〉	① 地域に必要な医療機能の整備	1) 救急医療体制の充実	○ 救急医療体制の充実	28年度～30年度	△	○	⇒	H30年8月から時間内救急部門に専任医師を配置 (H30年度 救急車総受容率 84.1%)
		2) がん、脳卒中、急性心筋梗塞など一般急性期医療	○ がんの診断・治療の充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	
			○ 脳卒中治療の充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	
			○ 心臓血管疾患治療の充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	
	○ 慢性腎疾患治療の充実		28年度～30年度	△	⇒	⇒		
	3) 周産期医療・小児医療	○ 分娩体制の維持・充実、NICU整備	28年度～30年度	△	⇒	⇒		
		○ 小児入院医療体制の維持・充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	開業医の夜診時間帯における紹介患者の受入対応の実施を継続	
	4) リハビリテーション	○ 急性期リハビリテーションの充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	心大血管疾患リハビリテーション料 I の施設基準届出を検討	
		○ 外来の回復期リハビリテーションの充実	28年度～30年度	 	※	※		
	② 応じた地域医療棟構想に對	1) HCUやNICUの整備	○ HCUやNICUの整備	28年度～30年度	 	※	※	
		2) 地域包括ケア病棟の維持・充実	○ 地域包括ケア病棟の維持・充実	28年度～30年度	△	○	⇒	急性期病棟からのスムーズな転棟、および院外からの直接受入れについても推進し、病棟稼働率の安定を図る。(予算目標一日平均40人に対し、実績平均43.4人) 延入院患者数は前年度対比1,133人増となる15,830人
		3) 第四次計画期間の開設を目指して回復期リハビリテーション病棟と緩和ケア病棟の設置準備	○ 第四次計画期間の開設を目指して回復期リハビリテーション病棟と緩和ケア病棟の設置準備	28年度～30年度	 	△	⇒	現在検討中
	③ 外来診療の構造転換の	外来診療の構造転換	○ 紹介型外来・救急外来への重点化	28年度～30年度	△	○	⇒	救急車受入台数は前年度対比13件増となる2,680件 紹介患者数は前年度対比375人増となる10,517人
			○ 選定療養費引き上げ	28年度～30年度	○	⇒	⇒	
			○ 地域医療機関への逆紹介推進	28年度～30年度	△	○	⇒	逆紹介患者数は前年度対比445人増となる7,871人
	④ 計画的な整備	医療機器等の計画的な整備	○ 高度医療機器の機能維持・向上	28年度～30年度	△	⇒	○	H30年5月に体外衝撃波結石破碎装置を更新 (今後も計画的に機器更新を実施予定)
○ 放射線治療設備導入の検討			28年度～30年度	※	※	※		

		概要		目標年度	28年度	29年度	30年度	備考
B・良質で安定した医療サービスを支える（活力あふれる人づくり）	① 診療体制の充実	1) 医師	○ 計画期間中に15名増員 重点強化分野を中心に招聘 後期研修プログラム整備、後期研修医を増員	28年度～30年度	△	⇒	⇒	前年度対比3名の医師を増員 H30年度から基幹型臨床研修病院(1名採用)、内科領域の基幹病院(1名採用)に指定
			○ 総合診療専門医、地域包括医療・ケア認定医の育成	28年度～30年度		※	※	
		2) 看護師	○ 一般病棟で最高水準の看護体制を維持	28年度～30年度	△	○	⇒	急性期一般入院料1(7対1看護体制)維持
			○ ハイケアユニットやNICUへの配置	28年度～30年度		※	※	
	3) ケアパワー	○ 高齢患者増加に伴う看護助手等の配置	28年度～30年度	△	⇒	⇒		
	4) 濃密な急性期医療を支える医療技術職	○ 薬剤師、セラピスト、管理栄養士等の増員	28年度～30年度		△	⇒		
	② 職員の定着と育成	1) 安心して働ける就業環境の整備	○ 福利厚生の実施	28年度～30年度	△	⇒	⇒	H30年10月に院内コンビニをオープン(患者サービスの向上と併せて実施)
			○ 院内保育などの充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	
		2) 研修体系の充実	○ キャリアラダー整備	28年度～30年度	△	⇒	⇒	
	○ 院内外の職員研修の充実 技術研修、他院留学制度、語学研修など		28年度～30年度	△	⇒	⇒	H30年度 新規認定看護師資格取得者3名	
	3) 処遇の見直し・改善	○ 処遇の見直し・改善	28年度～30年度	△	⇒	⇒	会計年度任用職員の処遇について検討 院内に職員意見箱を設置	
	③ 地域全体の医療職・介護職の教育・研修	1) 地域の医療職への教育・研修	○ 緩和ケア研修、救急隊研修など	28年度～30年度	△	○	⇒	認定看護師による院内外の研修会、院内外多職種による研修会、救急症例検討会(消防署職員参加)等の実施を継続
		2) 地域包括ケアシステムを支える多職種への研修	○ 訪問看護師向け研修、介護福祉士向け研修など	28年度～30年度	△	○	⇒	認定看護師による院内外の研修会、院内外多職種による研修会の実施を継続
		3) 地域ぐるみで研修を運営する仕組みの整備	○ 地域医療支援病院委員会のもとに組織を設置	28年度～30年度	○	⇒	⇒	

		概 要		目標年度	28年度	29年度	30年度	備 考
C ・地域包括ケアシステム時代の ≪切れ目ないネットワークづくり≫	①地域医療支援病院の承認	○	地域医療支援病院の承認	28年度～30年度		○	⇒	
	②連携診療ネットワークの充実	○	地域医療連携室の発展的改編、人員体制の充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	
		○	地域医療機関との協業、緊密な連携	28年度～30年度	△	○	⇒	連携医療機関加入への依頼、医師同伴による医療機関への訪問、近隣福祉施設への訪問を行いなどの連携強化を継続(紹介患者数 前年度対比375人増)
	③在宅医療・在宅介護の側面支援	○	訪問看護ステーション開設	28年度～30年度	△	⇒	⇒	訪問看護部門については医療依存度の高い方等の訪問看護を継続
		○	訪問リハビリテーションの実施	28年度～30年度		△	○	H31年2月から訪問リハビリを開始
		○	訪問看護ステーションを核とした多職種チームによる認知症対応	28年度～30年度			※	※
	④山城南医療圏の地域包括ケアシステム作りへの参加・協力	○	中核病院と老健の開設者として参加・協力	28年度～30年度	△	⇒	⇒	相楽医師会が中心となる、医療・介護・福祉の専門職及び行政機関が協働する多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」に参加・協力(2カ月に1度、対面での会議に当院の地域医療連携室職員が参加)
	⑤東部町村の医療支援	○	後期研修プログラムによる診療応援	28年度～30年度		△	⇒	現在行なっている近隣山間部診療所支援に、今後研修医の同伴及び視察研修を検討
		○	訪問看護ステーションによる山間地コミュニティの支援など	28年度～30年度			※	※
	⑥健康寿命を延ばすための活動	○	健診の充実	28年度～30年度		○	⇒	市町村がん検診枠、人間ドック枠の増加 受診者に対するアメニティの充実 (人間ドック受診者数 前年度対比318人増の2,243人)
○		生活習慣病センターの開設	28年度～30年度		△	⇒	毎月曜午後に生活習慣病外来を開設	
○		予防医学的フィールドワークの充実 高齢者・在宅療養患者の食事指導など	28年度～30年度			※	※	

		概 要		目標年度	28年度	29年度	30年度	備 考
D ・ そ の 他	①医療安全の確保	○	安全管理者の育成、職員研修の充実	28年度～30年度	△	⇒	⇒	院内全職員研修の実施を継続
	②患者サービスの向上	○	予約制外来に移行して、診察待ち時間を短縮	28年度～30年度	△	⇒	⇒	診療連携部会にて、予約の適正化等について検討
		○	癒しの場にふさわしい療養環境の維持	28年度～30年度	△	⇒	⇒	アンケートなどで要望のあった院内コンビニをH30年10月にオープン (ATM、振込等のサービス充実) ボランティアによる病棟ダイルーム・外来待合室等の装飾を実施
	③運営の効率化	○	後発医薬品の使用促進	28年度～30年度	△	⇒	○	後発医薬品への切り替えについては、入院、外来とも90%以上となり、後発医薬品 使用体制加算1の施設基準を届出
		○	継続して材料費・委託費・保守料等の削減・抑制に取り組む	28年度～30年度	△	⇒	⇒	継続して費用削減に取り組む(電気・ガス契約先の見直し) 材料費についてはベンチマークを導入し、費用削減に取り組んでいる

3. 医師の配置状況 (各年度3月末現在)

()内は専門医 再掲

	平成29年度	平成30年度	前年度比	非常勤医師
	人	人	人	人
内科	1	1(1)	0	1
消化器内科	4(4)	4(4)	0	2
循環器内科	4(3)	4(2)	0	3
呼吸器内科	0	0	0	2
腎臓内科	3(2)	3(2)	0	1
糖尿病・代謝内科	2(1)	3(1)	1	1
リウマチ科	2(1)	2(1)	0	0
脳神経内科	3(2)	3(3)	0	3
小児科	4(3)	4(3)	0	3
外科	2(2)	2(2)	0	0
呼吸器外科	1(1)	1(1)	0	3
消化器外科	2(1)	2(2)	0	0
乳腺・内分泌外科	2(1)	2(1)	0	3
小児外科	1(1)	1(1)	0	1
整形外科	2(2)	2(2)	0	3
脳神経外科	1(1)	1(1)	0	2
皮膚科	0	1(1)	1	1
泌尿器科	2(2)	3(2)	1	0
泌尿器科(人工透析)	0	0	0	0
放射線科	4(3)	4(3)	0	0
麻酔科	3(2)	4(2)	1	1
産婦人科	3(2)	3(2)	0	3
眼科	2(1)	2(1)	0	2
耳鼻咽喉科	0	0	0	2
病理	0	0	0	4
研修医	6	5	▲1	0
合 計	54	57	3	41

4. 平成30年度 下期経営状況（10月～3月）

(1) 収益的収支

（単位：千円）

	30年度下期 (10～3月)実績額	29年度下期 (10～3月)実績額	(10～3月)前年比
事業収益	3,806,617	3,722,293	84,324
うち入院収益	2,178,633	2,227,537	△ 48,904
うち外来収益	1,128,144	994,699	133,445
事業費用	3,931,768	3,811,458	120,310
うち給与費	2,156,885	2,110,607	46,278
うち材料費	912,724	827,443	85,281
うち経費	515,829	498,351	17,478
経常損益	△ 123,401	△ 77,765	△ 45,636
特別損益	△ 1,750	△ 11,400	9,650
純損益	△ 125,151	△ 89,165	△ 35,986

(2) 患者数

（単位：人）

	30年度下期 (10～3月)実績額	29年度下期 (10～3月)実績額	(10～3月)前年比
外来延患者数	66,725	66,115	610
入院延患者数	40,925	42,694	△ 1,769
新入院患者数	2,841	2,978	△ 137
総紹介患者数	5,195	4,988	207
うち初診紹介患者数	3,712	3,541	171